

平成25年 4月20日

長岡市長 森 民夫 様

〒 9 4 0 - 0 1 0 2

申請者 住 所...長岡市人面 2130 番地1

団 体 名...人面区

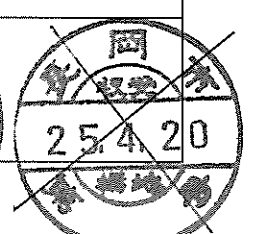
代 表 者...区長 片山和郎



平成25年度 長岡市地域コミュニティ事業補助金交付申請書

平成25年度 長岡市地域コミュニティ事業補助金の交付を受けたいので、次のとおり申請します。

事業名	「小さな集落の小さな活性化事業」																																																																			
事業概要	<p>【目的】活性化事業という手段を通じて、コミュニケーションと信頼関係が深まることにより、信じあい・助け合い・思いやる地域コミュニティの醸成が成されることを目指す。</p> <p>【内容】①鎮守様の森再生プロジェクト ②ひとづら故郷会の立上プロジェクト ③村内一斉「100人」清掃の実施 ④花木の里づくり作戦 ⑤屏風桜プロジェクト ⑥馬蹄形桜プロジェクト ⑦ひとづらの昔記録作戦 ⑧屋号付区内電話番号簿の配布 ⑨ひとづら号外新聞 ⑩あかみち掘り起し作戦</p>																																																																			
補助申請額	下記 (F)の額を記入 5 0 0 0 0 0 円																																																																			
補助申請額算出の基礎	<table style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: right;">支出の部合計(A)</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: right;">補助対象外経費(B)</td> <td style="text-align: center;">=</td> <td style="text-align: right;">補助対象経費(C)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">695,900円</td> <td></td> <td style="text-align: right;">0円</td> <td></td> <td style="text-align: right;">695,900円</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td style="text-align: right;">事業を実施することによって得られる収入のうち、補助対象経費に充てるもの</td> <td style="text-align: center;">=</td> <td style="text-align: right;">特定財源(D)</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: right;">0円</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td style="text-align: right;">(C)-(D)=補助金算出対象額</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: right;">(補助率)</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td style="text-align: right;">695,900円</td> <td></td> <td style="text-align: right;">80%</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td style="text-align: right;">=</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td style="text-align: right;">補助金額 (E)</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td style="text-align: right;">556,720円</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td style="text-align: center;">↓</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td style="text-align: right;">補助金額 (E) の千円未満切り捨てた額 (F)</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td style="text-align: right;">※金額の上限は50万円です</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td style="text-align: right;">500,000円</td> </tr> </table>			支出の部合計(A)	-	補助対象外経費(B)	=	補助対象経費(C)	695,900円		0円		695,900円			事業を実施することによって得られる収入のうち、補助対象経費に充てるもの	=	特定財源(D)					0円			(C)-(D)=補助金算出対象額	×	(補助率)			695,900円		80%					=					補助金額 (E)					556,720円					↓					補助金額 (E) の千円未満切り捨てた額 (F)					※金額の上限は50万円です					500,000円
支出の部合計(A)	-	補助対象外経費(B)	=	補助対象経費(C)																																																																
695,900円		0円		695,900円																																																																
		事業を実施することによって得られる収入のうち、補助対象経費に充てるもの	=	特定財源(D)																																																																
				0円																																																																
		(C)-(D)=補助金算出対象額	×	(補助率)																																																																
		695,900円		80%																																																																
				=																																																																
				補助金額 (E)																																																																
				556,720円																																																																
				↓																																																																
				補助金額 (E) の千円未満切り捨てた額 (F)																																																																
				※金額の上限は50万円です																																																																
				500,000円																																																																
事業期間 (予定)	着 手	平成25年4月20日	完 了	平成26年3月31日																																																																
添付書類	○ 団体の概要説明書 (第2号様式) ○ 事業計画書 (第3号様式) ○ 事業の収支予算書 (第4号様式)																																																																			



平成25年度 長岡市地域コミュニティ事業補助金申請団体の概要

1. 申請団体の概要および申請事業の計画等【公開対象】

ふりがな	ひとづらく /		
団体名	人面区 /		
代表者氏名	(肩書: 区長) 片山和郎 /		
設立年月日	昭和・平成	年	月 日
	構成員数	60人	
設立目的	1. 住民相互の連絡に関する活動 / 2. 集落間の清掃、美化に関する活動 / 3. 集落間の慶弔・諸行事に関する活動 / 4. 趣味、レクリエーション等に関する文化活動他 /		
これまでの活動実績	江浚い / 春・秋の祭禮 / 道普請他 /		
過去の補助実績 (該当する場合のみ)	年度	補助を受けた制度の名称	補助金額(円)
添付資料	事業計画	・別添「第3号様式 事業計画書」のとおり /	
	収支予算等	・別添「第4号様式 事業の収支予算書」のとおり /	
	その他、団体をPRするパンフレット等	有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無 (どちらかに○印)	

2. 申請団体の連絡先等【公開、非公開を選択※】

事務所所在地	長岡市人面 2130 番地1	<input checked="" type="radio"/> 公開 ・ 非公開	
電話・FAX番号等	電話090-3093-8070 FAX0256-45-7305	<input checked="" type="radio"/> 公開 ・ 非公開	
	Eメールアドレス mac-con@tkcnf.or.jp		
担当者連絡先	氏名 片山和郎 /	<input checked="" type="radio"/> 公開 ・ 非公開	
	住所 長岡市人面2130番地1 /		
	電話・FAX番号等 電話 0256-45-7310 FAX 同上 /		
添付資料	名簿またはこれに類するもの	・別添のとおり /	<input type="radio"/> 公開 ・ <input checked="" type="radio"/> 非公開
	規約またはこれに類するもの	・別添のとおり /	<input type="radio"/> 公開 ・ <input checked="" type="radio"/> 非公開

※ 個人情報保護の観点から、広く公開してもよいものなら“公開”に、そうでないものは“非公開”に○を付けてください。

※ 2の添付資料(名簿類・規約類)については、交付審査の際の資料として審査関係者に提示する場合があります。

事業名	小さな集落の小さな活性化事業
事業実施の目的 目的 現状 課題 必要性	<p>活性化事業が目的であるとは考えたこともない。あくまでも手段であり、手法でしかない。しかし結果的に目的と環状的に結びついていることも事実である。</p> <p>経済的な視点が物事の尺度となって久しい。それも自らや最小単位である家族に対するものからの出発であり、皆とは行動は別々であり、自らの権利は強く主張するが、なるべく負担は少なくしたい。皆の為とか地域の為とかというマインドは非常に希薄になっている。</p> <p>特にこの地域では平成16年と平成22年の二度に渡る大水害により、田や農道・用水路等の修復に係る費用が甚大であり、土地への執着や土地への権利意識も相まって、集落内が冷たい関係になっていることも事実である。</p> <p>これらのことを懸案し25年4月上旬に無記名アンケートを初めて実施した。一生懸命していると思っていた役員等には非情に厳しい集計結果であった。物事の本心が農家、特に古くからおもだちと言われ続けてきた農家に対する反動が大きく、時代のうねりを感じざるを得ない結果となった。</p> <p>区長は行政の連絡係りから脱出し、あらゆることから地域をリードするリーダーたらんとなることが基本であり、現状を認識し、事実を伝え、批判から創意工夫への道標を示すことが必要であると認識している。</p> <p>地域コミュニティを再構築するには、誰これなく、一緒に考え一緒に行動し一緒に汗を流すこと以外近道が無いのではないかと考えている。</p> <p>それら活動の参加を通じて、助け合い、信じあい、思い合うことが普通に出来、個々人も自らのふるさとを誇りに思える地域を目指すことを目的とした。</p> <p>その為の手法として、「都市は集積論」を念頭に総合的な検討を余儀なくしたものが以下のとおりである。</p>
事業内容等	個々の資料参照
本年度の事業・スケジュール	個々の資料参照
地域活性化の波及	<p>人面（ひとづら）が旧栃尾市の出口とは思っていない。 お迎えする玄関であると思っている。</p> <p>誰もが誇りに思いたいという欲求を有している。褒めてもらいたい、綺麗にしたい、評価されたい、飾りたい、……。そのようなことを主眼に置いて実施することにより、個人として自ら有った欲求を地域全体で具現化することにより、「こんな田舎でもやればできるんだー！！」という積み重ねにより、ふるさと（地域）への意識レベルが向上するとともに、地域・自身のアイデンティティーが醸成・構築されていくものと考えている。</p> <p>事業としては一年間でやり遂げるが、その結果は数年又は50年先となるかもしれない。花にしる、木にしる、人にしる注ぎ続けることに意味がある。私たちは花を植え、木を植え、人の意識を植える。</p> <p>育てるのは継続した次の世代で、肥料は故郷への想いであることを願う。</p>

事業計画書

<p>事業名</p>	<p>①鎮守の森再生プロジェクト</p>
<p>事業実施の目的 目的 現状 課題 必要性</p>	<p>平成7年境内の樹齢300年とも言われていたブナの木が台風により倒壊し神社を押し潰した。再建をしたものの境内のご神木と言われた杉の大木は再建資金の一部として全てが切り倒され、神社は明るい空間となったが鎮守様が持つ威厳や癒し空間は無くなった。それ以降、時代の変遷に同化するよう年2回しかない春・秋の祭禮にもかかわらず担当役員しか集まらない寂しい神社となってしまった。久しぶりに今年25年の春は創意と工夫により子供たちの声が聞こえるにぎやかな祭りとなったが、普段からも鎮守様に遊びに行く場所もない（他に、公園や広場といわれる場所はない）ため、子供たちの声が聞こえる広場を森とともに再生したい。</p>
<p>事業内容 実施月日 実施場所 参加者名 実施内容等</p>	<p>①実施時期 平成25年秋頃（植樹適時） ②場所 境内入口近辺（水害等により排出された河川の土砂を埋め立てられたままとなっている荒れた草地）約1000㎡ ③参加者 区民 ④内容等 近辺の雑木を切り倒し、カヤを取り除き、起伏をつけた台地を造成し植樹をする。 樹種は守門山系のブナとし、ブナの森を作る ⑤予算等 伐採・整地区外人夫賃 5人×2日×6000円=60000 (円) 機械借上げ料金 チェーンソー・草刈機・ユンボ 30000 “ ブナの苗木 寄贈予定 杭等資材 20000 “</p>
<p>本年度の事業 スケジュール</p>	<p>25年9月頃雑木伐採 カヤの排出 台地造成 25年10月頃 ブナの植樹 広場の作成</p>
<p>地域活性化の波及性</p>	<p>子供たちがのびのび遊びまわる、子供たちの声が響き渡るふるさとを目指す</p>

*事業の内容は、詳細に記載してください。（別紙も可）

事業計画書

事業名	②ひとつら故郷会立上げプロジェクト
事業実施の目的 目的 現状 課題 必要性	地域の連携は何も地域に住んでいる人だけで作り上げられているものではない。人面を離れた幼馴染や隣のおにいさん・おねえさん、これから続く後輩たち全てがトータルで故郷を思いやっている積み重ねで成り立っている。 人面のメッセンジャーとなり応援団となってもらい、時には互いに勇気づけられ力づけられる関係を構築しておきたい。
事業内容 実施月日 実施場所 参加者名 実施内容等	<p>①実施時期 25年6月頃～準備 25年8月14日発会式（人面地区）</p> <p>②実施場所 区内他</p> <p>③参加者名 人面区に住所等を有していた者</p> <p>④内容 住所・名前等データベース化する。 この会の参加の可否を確認する（郵送） 25年8月14日発会式を行う</p> <p>⑤予算 データベース化外部委託費用 50000 (円) 郵送料 130円×500人＝ 65000 〃 シート等会場費 大型シート5枚他 15000 〃</p>
本年度の事業 スケジュール	上記の通り
地域活性化の波及性	地域を知り、思いやってくれる外部の方々からの、要望や意見・励ましをもらいながら地域づくりに活かしたい。

*事業の内容は、詳細に記載してください。（別紙也可）

事業計画書

事業名	③村内一斉「100人」清掃の実施
事業実施の目的 目的 現状 課題 必要性	本来なら公共的な観点からは、地先は自らの責任において清掃し、おもてなしの心で迎え入れることが原則であるが、農業をしていると思うようにいかないのが現実である。しかし、全員が一斉に行うことにより、又、村内くまなく、且つ徹底的に行うことにより、地先のみでなく公道脇も全て綺麗になれば更に意識レベルも高まり、地域全体が清潔感に包まれ、その姿と一緒に参加している子供たちが見ることにより、社会性・公共性が育まれていくものとする。
事業内容 実施月日 実施場所 参加者名 実施内容等	<p>①実施の時期 25年7月21日(日)</p> <p>②場所 村内すべての道路脇(私道・公道を問わず)</p> <p>③参加者 区内各戸全員+家族 総勢100人以上</p> <p>④内容 AM5時00分～AM7時00分間での2時間 私道・公道を問わず村内全ての道路の草刈り・空き缶・ゴミ拾い</p> <p>⑤予算 オニギリと味噌汁を用意(自費で用意) ゴミ袋及び処理料は市役所環境衛生課より支給 運搬車両・草刈機燃料代 10000 (円)</p>
本年度の事業スケジュール	上記の通り
地域活性化の波及性	ポイントは全世帯の老若男女全員に声掛けし、くまなく全世帯から参加してもらうことと、且つ、部分的ではなく徹底的に全ての道を対象に行うことだと思う。

*事業の内容は、詳細に記載してください。(別紙も可)

事業計画書

<p>事業名</p>	<p>④花木の里づくり作戦</p>
<p>事業実施の目的 目的 現状 課題 必要性</p>	<p>ひとつらは歴史も無く見るべき景観も無い典型的な中山間地である。まちづくりの題材が無いのも事実である。しかし、そこは創意工夫で乗り越えなければならない。</p> <p>無ければつくり出すほかない。それもまちづくりの醍醐味であり、何も無いから何もできないという発想から一步踏み出したい。</p> <p>国道290号線・下田方面を走り人面隧道（ひとつらトンネル）を抜けるとやゝ穏やかな下りに差し掛かる。このトンネルを抜けた途端に暖かい風景が目飛び込んでくる。典型的な中山間地の田園風景である。高いところから見下ろすように見る所為もあるが季節季節に色々な表情を見せてくれる。</p> <p>豪雪地帯であることを考えると、手がかからなく、巨木にならない樹木を選択することとする。又、花は5cm程度の高さで交通の邪魔にならなく、永続性のある宿根草を選択したい。</p> <p>旧栃尾市の入り口として、花木をもっておもてなしの心で迎え入れたい。</p>
<p>事業内容 実施月日 実施場所 参加者名 実施内容等</p>	<p>①実施時期 25年10月頃</p> <p>②場所 樹木 各戸での庭等空きスペース 花 国道・市道脇</p> <p>③参加者 区民</p> <p>④内容等 「花かいどう」を各家庭に配布し、5月上旬の一瞬ピンクの花の里にしたい。</p> <p>又、国道脇には「月見草」を群生させたい。もちろんトンネルから市道に至るまでである。この花は宿根草であり群生する為雑草が生えにくく、秋まで薄いピンクがかった花を永く咲かせるために景観的にもみられ、又、5cm~10cm程度の高さしかならず交通の妨げ等は一切ならない。</p> <p>⑤予算等 花かいどう樹の購入費 @2500×60=150000 (円) 月見草種の購入費 @500×100袋=50000 (円)</p>
<p>本年度の事業スケジュール</p>	<p>上記の通り</p>
<p>地域活性化の波及</p>	<p>空き缶・ゴミのポイ捨て防止を促し地域内の環境美化に資するとともに、旧栃尾市のおもてなしの心で迎え入れたい。</p>

*事業の内容は、詳細に記載してください。(別紙も可)

事業計画書

<p>事業名</p>	<p>⑤屏風桜プロジェクト</p>
<p>事業実施の目的 目的 現状 課題 必要性</p>	<p>県道見附・遅場線を旧栃尾市文納に入り刈谷田川の支流である塩谷川を渡ると人面トンネルを掘らせた峰々が守門山までずーっと続く。下田との分水嶺を構築している。広義では塩谷川の河岸段丘と言っても差し支えない。この道すがらその山々を眺めるとまるで屏風の如く形態を成している。この峰々にオオヤマ桜を植えて、その景観を奏でたい。春霞のなか雪消えの峰々にやゝ濃いめのピンクの桜が咲く様は、里山の風景に溶け込み、将来一服の自然絵を見るような表情を見せてくれるものと思う。</p>
<p>事業内容 実施月日 実施場所 参加者名 実施内容等</p>	<p>①実施時期 25年秋頃（植樹適時） ②場所 人面（文納・下塩地籍を一部含む）内 ③参加者名 区民 ④実施内容 民有地の雑木山に、2メートル程度の空閑地をつくりオオヤマ桜を植える。杭等で補強する。 ⑤予算等 オオヤマ桜苗木 50本×2000円=100000 (円) 杭他資材 50000 〃 チェーンソー他整地燃料費 10000 〃 人夫賃 ボランティア</p>
<p>本年度の事業 スケジュール</p>	<p>上記の通り</p>
<p>地域活性化の波及性</p>	<p>中山間地の自然と景観を利用しながら交流人口を増やし、地域を理解してもらうことにより、地域に息づく人々の意識の向上が目指せる。</p>

*事業の内容は、詳細に記載してください。（別紙も可）

事業計画書

<p>事業名</p>	<p>⑥馬蹄形桜プロジェクト</p>
<p>事業実施の目的 目的 現状 課題 必要性</p>	<p>小字通称「郷地久保」地内は、平成22年度の大水害により国道崖が崩れ排水路を塞ぎ耕作休止を余儀なくされた。復旧が終わりフトン籠により基礎は安定したが崖崩れの痕はそのまま残ってしまっている。完成記念とともにこの旧塩谷川の蛇行痕である馬蹄形をした土地にエドコヒガン桜を植えて、桜並木としたい。</p>
<p>事業内容 実施月日 実施場所 参加者名 実施内容等</p>	<p>①実施時期等 25年10月頃 ②場所等 小字郷地久保地内 ③参加者等 区民 ④実施内容 個人名による寄附を募り「〇〇（屋号等）桜」とし、以降記念時に寄贈を受け付けたい。管理も基本的に個人で行う ⑤予算等 エドコヒガン桜苗木 個人負担 杭等資材費 30000 (円)</p>
<p>本年度の事業 スケジュール</p>	<p>上記の通り</p>
<p>地域活性化の波及性</p>	<p>馬蹄形という特異な地形を旨く利用し、桜並木を作り上げる。特に、個人が負担し個人が管理するという手法を採りたい。</p>

*事業の内容は、詳細に記載してください。（別紙も可）

事業計画書

<p>事業名</p>	<p>⑦ひとつらの昔記録作戦</p>
<p>事業実施の目的 目的 現状 課題 必要性</p>	<p>戦後から現代に至るまでの各戸に眠る写真等をデジタル化し、現代に甦らせることにより、先人の生き様や苦勞を偲びつつ、自の地域をより深く知る機会を造る。</p>
<p>事業内容 実施月日 実施場所 参加者名 実施内容等</p>	<p>①実施時期 25年8月14日頃まで ②場所 ③参加者名 全戸 ④内容等 各戸から3枚程度の写真を提供してもらいデジタル化する 8月14日のひとつら故郷会で発表 ⑤予算等 デジタル化費用 20000 (円) <i>(外部委託)</i></p>
<p>本年度の事業 スケジュール</p>	<p>上記の通り</p>
<p>地域活性化の波及性</p>	<p>自らの歴史を語られることは、地域間交流やひいては国際間の意思疎通のツールとなれる。そのことが地域からその人自身への理解へと進んでいく。</p>

*事業の内容は、詳細に記載してください。(別紙も可)

事業計画書

事業名	⑧屋号付き区内電話番号簿兼小字表示区内地図の作成
事業実施の目的 目的 現状 課題 必要性	<p>屋号は文化であり歴史であると自負する。 各戸の玄関等には平成9年に実施した屋号看板が誇らしげに掲げてある。 しかし、屋号が恥ずかしいものであるという認識は特に学生等若年者に多いのも事実である。それは、核家族化し普段から屋号を使う機会が少なくなっていることに起因する。今掘り起こしておきたい事象である。 又、地域にある小字（こあざ）はその地名から歴史を語りかけているものであるが、その小字がどこの辺を示しているのかが判らなくなっている。 共に歴史を語りかけているものであることから、この機会に文章化し地図化し普段から目にする機会を増やしたい。</p>
事業内容 実施月日 実施場所 参加者名 実施内容等	<p>①実施時期 25年5月頃 ②場所 ③参加者 ④実施内容 表面に屋号付き電話番号を裏面に小字を落とし込んだ住宅地図を硬質ファイルに入れて配布する。 ⑤予算等 硬質ファイル 60×315=18900(円)</p>
本年度の事業スケジュール	上記の通り
地域活性化の波及性	<p>屋号という、地域しか使えない符号をあえて全戸に配布することにより地域の連携を深めるとともに、地域の歴史を慮る機会にしたい。</p>

*事業の内容は、詳細に記載してください。（別紙も可）

事業計画書

<p>事業名</p>	<p>⑨ひとづら号外新聞の発行</p>
<p>事業実施の目的 目的 現状 課題 必要性</p>	<p><「個人情報にかかわること以外はすべて情報公開したい」が区長の想いである。>と就任時に披歴した。 特定の人たち（役員等）に全て任せてきたために、重要なことでさえ特定の人しか知らないという状況が続いてきた。又、何故？を繰り返してこなかったため特定の人のため（農地や農道等農業に関する改修等が中心である事業）にしか事業が遂行されていないのではないかという漠とした不満が鬱積していると同時に、何らかの形で少しでも全員が参加できる状態を作り出してやらないと、逆に何もしないことに安穩してしまいなるべく役職は避けて通りたいという他力本願が蔓延してしまっている現状をも打破するためにも、個人情報にかかわること以外は全て情報公開したいものである。その手段として「ひとづら号外新聞」を発行したい。 総会やプレ総会（寄り合い）、役員会、工事等事業の決定や進捗状況等を、その事業に直接関係なくとも状況を知ることにより、構成員の一員として自覚と参加意識を持つことによる疎外感を払拭できることに意義を見出せるものと考え。 年二回程度を考えている。</p>
<p>事業内容 実施月日 実施場所 参加者名 実施内容等</p>	<p>①実施時期 25年5月頃 25年12月頃 ②場所 ③参加者 ④実施内容 ひとづら号外新聞の発行を年2回程度実施する ⑤予算等 写真の焼き付け他 2000 (円) 資料収集 印刷（PC処理）</p>
<p>本年度の事業 スケジュール</p>	<p>上記の通り</p>
<p>地域活性化の波及性</p>	<p>「知らないことは恥ではない。知ろうとしないことが恥ずかしいことである」とは誰かの言葉ではないが、知ろうとしても情報が入ってこない現状では発信者が自覚しないと地域が閉塞感に陥ってしまう。</p>

*事業の内容は、詳細に記載してください。（別紙も可）

事業計画書

<p>事業名</p>	<p>⑩あかみち（赤道）掘り起し作戦</p>
<p>事業実施の目的 目的 現状 課題 必要性</p>	<p>いわゆる赤道は平成16年に国から市へ移管された。 この赤道は機能上有効に作動しているものもあれば、その存在自体が忘却されているものもあり、又建物の敷地となっていたり本来の用をなしていないものもある。しかし、この道々のことを古老に尋ねるとその存在意義があったことは容易に判明する。人間歩行 → 一輪車 → リヤカー → 耕運機と交通手段の変遷の中で現代の車社会の中では忘れ去られてしまった。しかし、利用されていた当時の意義が忘れ去られてしまったままでよいのか、個人の権利の中に埋没してしまってもよいのか、即ち歴史の中に埋もれさせてよいのかという疑問を解消するために赤道自体の存在を各人が認識してもらうためにこの事業を実施したい。</p>
<p>事業内容 実施月日 実施場所 参加者名 実施内容等</p>	<p>①実施時期 25年度中 ②実施場所 ③参加者名 ④実施内容 更正図等から赤道を掘り起こす 現況を確認する 各人に通知する（事実を認識してもらう） 重要性の高いものからランク付する ⑤予算等 原図コピー代金 10000 (円) 登記簿の確認等 5000 円</p>
<p>本年度の事業 スケジュール</p>	<p>上記の通り</p>
<p>地域活性化の波及性</p>	<p>一見、個人の権利間の調整のような事項であるが、沸々と浸み込んでいる複雑な問題である。近隣との関係の悪化の第一要因であるという理由も頷ける。「まったくそんなことに手を突っ込んで何になる」というのが正直な気持ちであるが、今の世代は押し殺していても、世代交代の時に尚複雑さを増していくのが現実である。このことが地域内の事業遂行に微妙に影を落としていることは否めない。 地味で、地域活性化に馴染まないことは理解しているが、元気よく明るい地域活性化事業だけが活性化ではないことを理解しないと地域はトータルで良くならない。 地域探訪という理由づけで実施し、事実は事実として認識してもらうことにより公明正大な地域運営を目指したい。</p>

*事業の内容は、詳細に記載してください。（別紙も可）

事業の収支予算書

収入の部

(単位:円)

項目		予算額	内 訳
地域コミュニティ事業補助金(F)		500000	
自己資金	区費会計より	195900	
特定財源	寄附金		
	参加費		
	その他収入金		
	小 計(D)		
その他			
合 計		695900	

支出の部

(単位:円)

項目		予算額	内 訳
補助対象経費	①鎮守の森再生	110000	別添資料参照
	② 故郷会設立	130000	別添資料参照
	③ 100人清掃	10000	別添資料参照
	④ 花木の里	200000	別添資料参照
	⑤ 屏風桜	160000	別添資料参照
	⑥ 馬蹄形桜	30000	別添資料参照
	⑦ 昔記録	20000	別添資料参照
	⑧ 屋号案内	18900	別添資料参照
	⑨ ひとづら新聞	2000	別添資料参照
	⑩ 赤道作戦	15000	別添資料参照
	小 計(C)	695900	
補助対象外経費			
	小 計(B)	0	
合 計(A)		695900	

※ 項目欄が不足する場合は、同類の項目をまとめて記入し、細目は別紙に記載してご提出ください。

資料③-1NO5

屏風桜プロジェクト 予定地

鎮守の森 予定地

馬蹄形桜 予定地

河尻堤

塩谷川

刈谷田川

不標出

下塩

田中沢川

吉永

下塩

山田

山田

柳屋